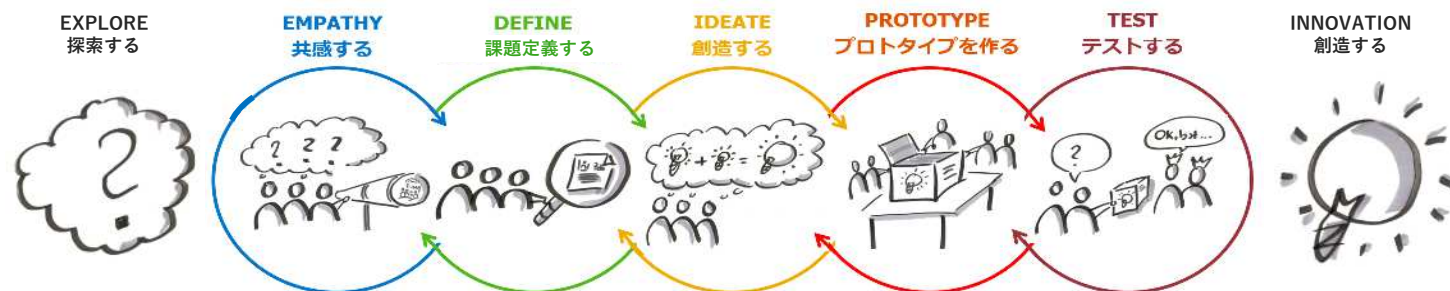


新しい時代の教職員研修への挑戦

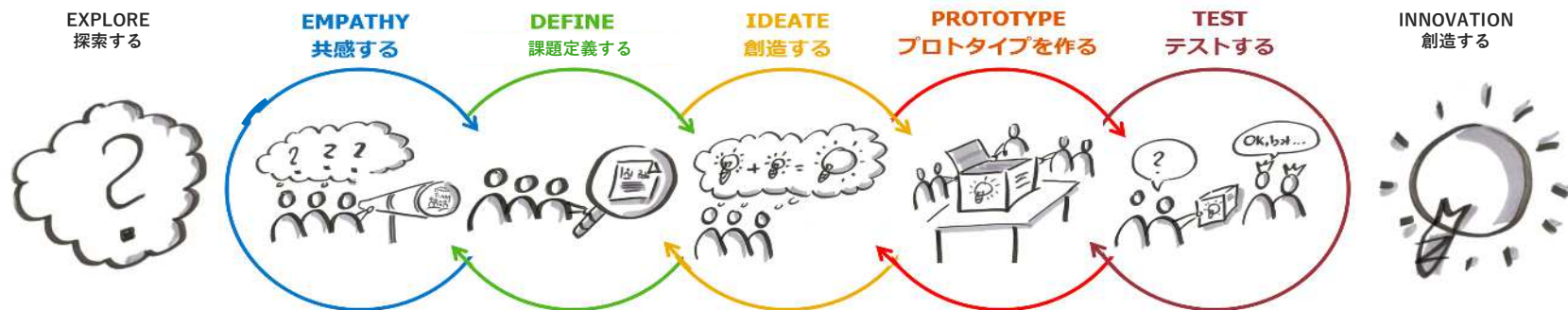
～デザイン思考で「子どもの学び方」「教師の教え方」が変わる～



さいたま市教育委員会

Contents

- 1 新たな教職員研修の必要性
- 2 研修の新しい形態
- 3 研修の特色
- 4 研修の成果



「時代」の変化

- ・答えが決まっている
- ・正解主義
- ・先が見通せる



- ・不確実性
- ・正解が誰にもわからない
- ・予測困難

生涯にわたって通用する学び方の習得が必要

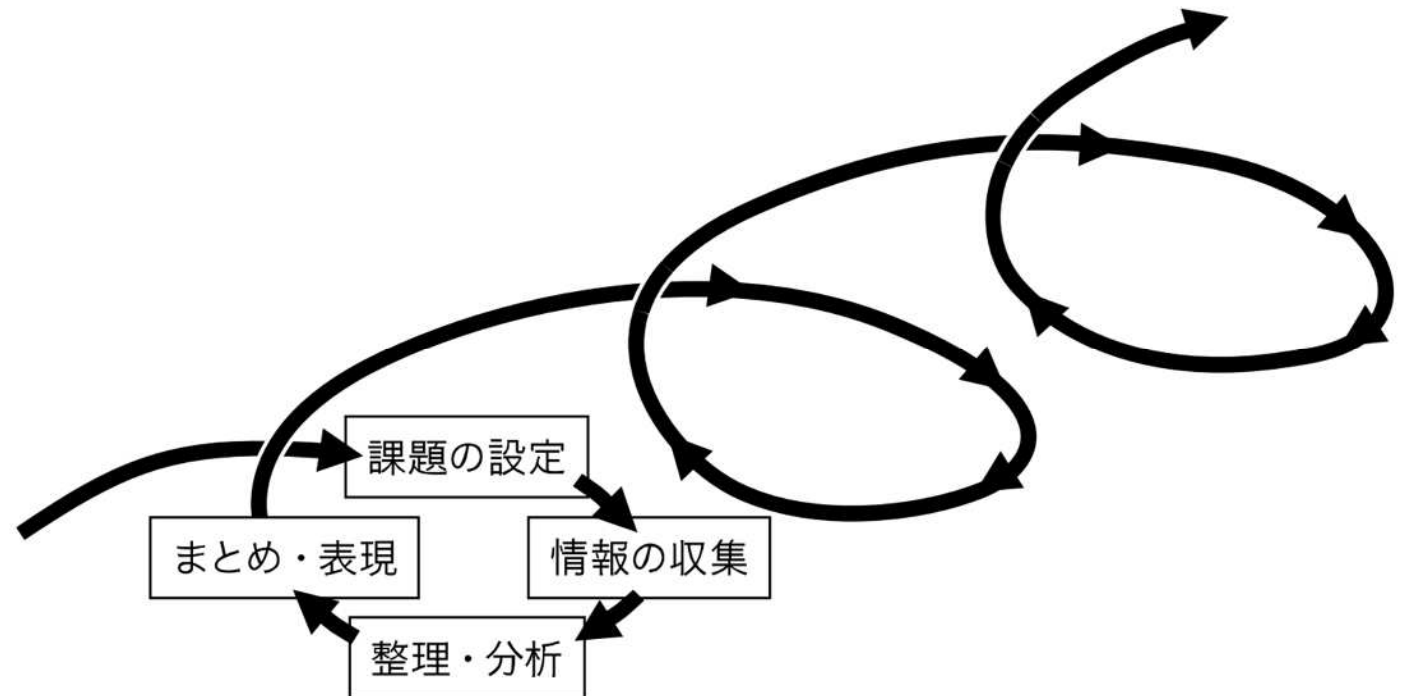
1 新たな教職員研修の必要性

「生涯にわたって通用する学び方」とは

探究的な学び

探究のプロセス

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現



新たな教職員研修の必要性

「学び」の変化

教師主導



子どもが主役



「教わる」から「自分で学ぶ」へ

2 研修の新たな形態

新しい時代に対応できる教職員の育成

令和5年度から
リニューアル

Coaching

コーチング

コーチングに関する研修

初任者研修、中堅教諭等資質向上研修
教育経営研修、校長会 等

*コーチングとは

自分で考え工夫する環境を作り、自発的な行動を起こさせるための
コミュニケーション方法

令和6年度から
新規

Facilitation

ファシリテーション

デザイン思考マスター研修

学校長が推薦した入職6年目以降の教職員

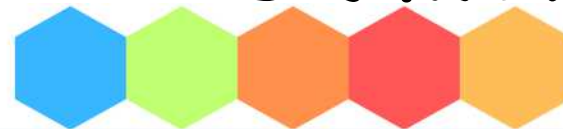
*デザイン思考とは

「人への共感」を手掛かりに課題を発見し、自由にアイデア発想しながら、
解決策を素早く形にして検証する問題解決手法

2 研修の新たな形態

一般社団法人

さいたま市教育委員会 × 日本デザイン思考協会



ファシリテーター養成に係る
市独自の教職員研修をスタート



2 研修の新たな形態

専門家との連携

一般社団法人日本デザイン思考協会



ファシリテートしてみて、
いかがでしたか？



専門家からのアドバイスにより
ファシリテーションスキルのさらなる向上

2 研修の新たな形態

異業種等との連携

民間企業・大学生



多様な価値観に触れながら
柔軟なファシリテーションスキルを醸成

3 研修の特色

独自カリキュラムの構築による次世代型人材育成

入職5年目の全教職員

入職6年目以降の教職員

デザイン思考体験研修



デザイン思考マスター研修

「デザイン思考マスター」の育成

3 研修の特色

独自カリキュラムの構築による次世代型人材育成

R6年度

R7年度

R8年度

R9年度

入職6年目以降の教職員「デザイン思考マスター研修」修了者

マスター



20名



40名

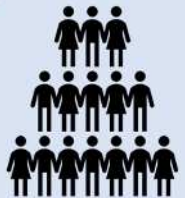


60名

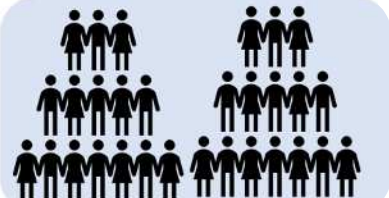


80名

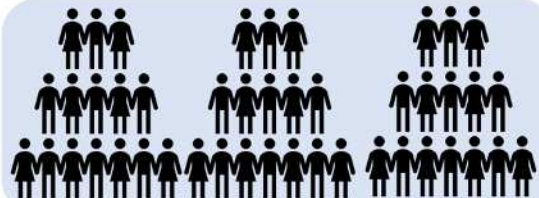
入職5年目の教職員「デザイン思考体験研修」修了者



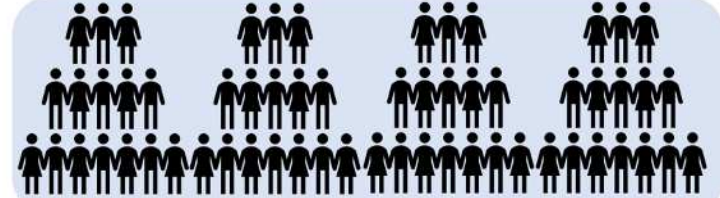
約250名



約500名



約750名



約1000名

高度なファシリテーション
スキルを有した**マスター**



デザイン思考スキル
&ファシリテーションスキル
を学んだ教職員



児童生徒の
探究的な
学びの実現

4 研修の成果

校種・学年	教科等	単元	おおまかな内容
小学校6年	総合的な学習の時間	SDGs ～未来の私たちにできること～	17の開発目標達成のため、困っている人たちの情報を得て、 自分たちができる解決策 を見出す。
小学校5年	総合的な学習の時間	ペーパーブリッジコンテスト	橋がない村の人たちのために、どのような橋を架けたら、村の人たちの 生活を豊かにできるか を考える。
小学校5年	社会	水産業の さかんな地域	単元の学習後、能登半島地震のあった地域の人々が喜ぶ水産物の開発について、 現地の人の気持ちに寄り添いながら 提案する。
小学校4年	国語	みんなが楽しめる新スポーツ	運動が苦手な人も含めて、クラスの 誰もが楽しめる新スポーツ を考える。アイデアを出し、話し合いを通して練り上げたものを提案する。
中学校1年	社会 (地理的分野)	世界の諸地域 「アフリカ州」	児童労働に従事している子どもが、どのようにしたら他の子どもと同様、 等しく教育を受けることができるようになるか を考える。

4 研修の成果

○日時：令和7年2月21日（金）8時30分～16時45分

○場所：さいたま市立教育研究所

問合せ：研究所所長、補佐



午前（8時30分～12時00分）

実践発表

研修教員が実施した実践を発表し、参加者と議論する。



午後（13時00分～16時45分）

参加者主導型 ディスカッション

「教育におけるデザイン思考の可能性」をテーマに、各研修教員が個人テーマを掲げて、それぞれの個人テーマについて、参加者が熱く語り合う。

